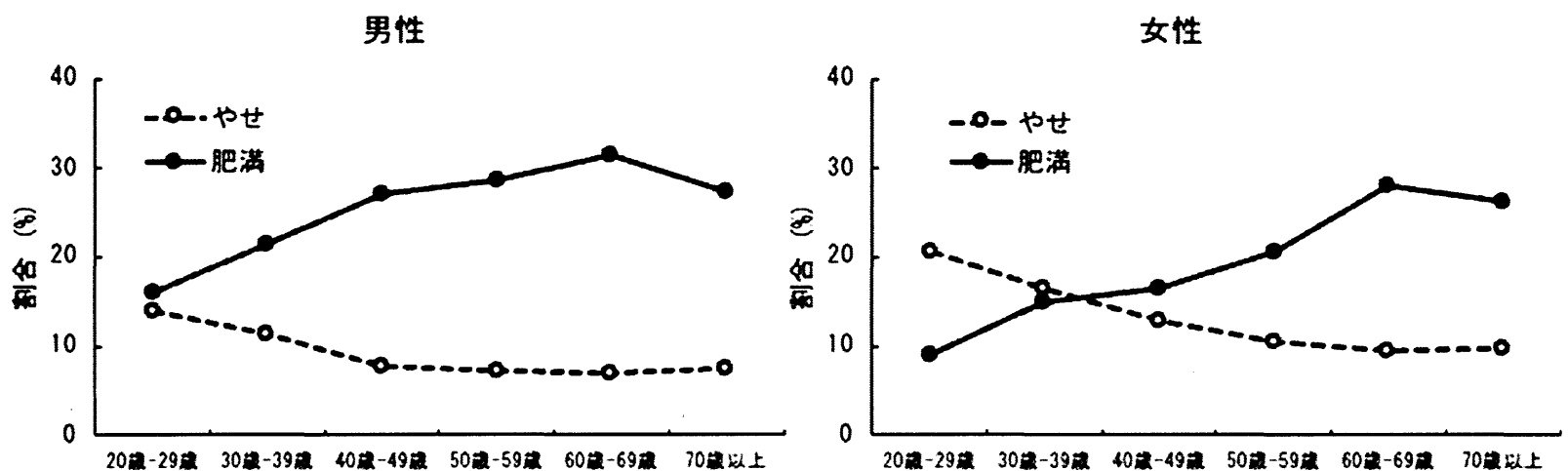


令和7年度小論文試験 学校推薦型選抜（A推薦, B推薦, C推薦）,  
 総合型選抜, 帰国生選抜, 社会人選抜, 国際バカロレア選抜（畜産） 00 /  
 （試験時間90分）

問1. ボディマス指数（BMI）は体重（kg）を身長（m）の2乗で割った値であり、肥満度を表す指標である。BMI18.5未満がやせの者、25以上が肥満者とされている。図1は我が国の2019年における男性および女性のやせの者、肥満者の割合を年齢層別に示したものである。また、BMIは単にやせや肥満の指標であるばかりでなく、健康状態とも関係性があると言われている。表1は我が国におけるBMIが23以上25未満の者の全死亡リスクを1とした時の、性別・BMIごとに全死亡リスクの相対値を示したものであり、右肩の\*は全死亡リスクが統計学的に高くなっていることを示している。

これらの図表を見て我が国ではどのような健康上の問題があり、健康維持にはどのような指導が有効であると考えられるか、性別や年齢層に注目して考察し、200字程度で述べなさい。



い。

図1. 年齢別のやせの者・肥満者の割合（2019年 国民健康・栄養調査より作成）

表1. BMIごとの全死亡リスクの相対値

BMI	男性	女性
14以上 19未満	1.78*	1.61*
19以上 21未満	1.27*	1.17*
21以上 23未満	1.11*	1.03
23以上 25未満 (基準)	1.00	1.00
25以上 27未満	0.94	1.04
27以上 30未満	1.07	1.08*
30以上 40未満	1.36*	1.37*

BMIが23以上25未満の者の全死亡リスクを1とした時の相対値で表し、\*は統計学的に1よりも高くなっていることを示す（Sasazuki et al. *J Epidemiol* (2011)より作成）

問 2. 下の図表は、図 2:栄養失調による死亡率、表 2:各国における 1 人あたり国民総所得と食費額、図 3:1955 年から 2050 年までの地域別の人口の推移、をそれぞれ示している。世界的な食糧事情の現状と将来について、これらの図表から読み取れることを 300 字程度で記述しなさい。

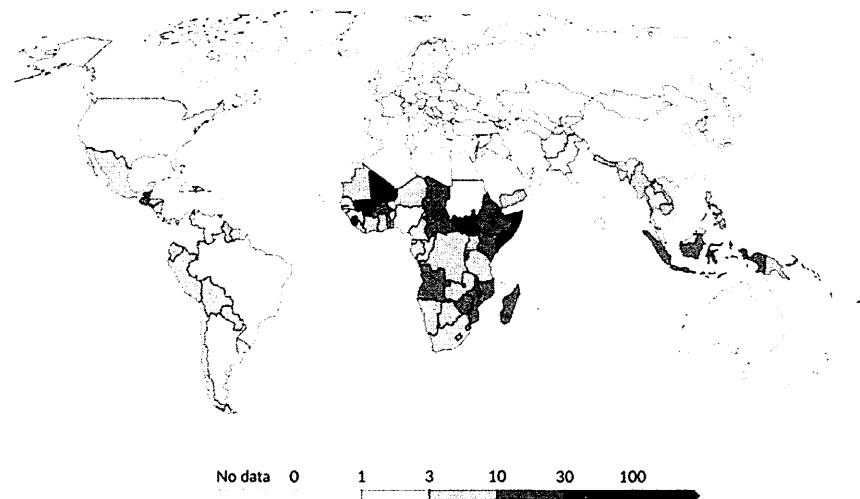


図 2. 栄養失調による死亡率 (2022 年)  
人口 10 万人あたりのタンパク質エネルギー栄養失調による推定死亡率を示す。  
出典 : IHME, Global Burden of Disease (2024)

表 2. 各国における 1 人あたり国民総所得と食費額

国名	国民総所得 米ドル	食費額 1) 米ドル
ケニア	2,067	1,172
ドイツ	50,804	5,995
バングラディッシュ	2,629	1,385
日本	36,337	4,942
アメリカ合衆国	77,087	5,165

1)食費額は家計に占める食費 (家庭内での消費のみ) を示す。  
国民総所得データは National Accounts - Analysis of Main Aggregates (2022)から取得、食費額は国民総所得データおよび Our World in Data (2022)の家計に占める食費の割合から独自に算出した。

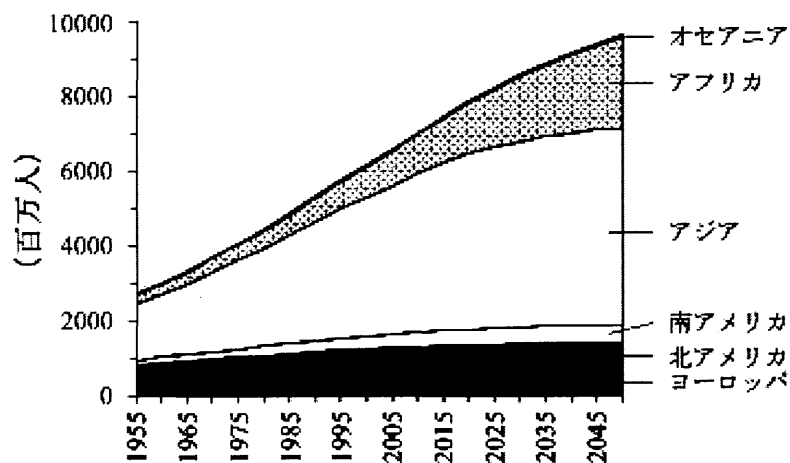


図 3. 1955 年から 2050 年までの地域別の人口の推移 (2024 年以降のデータは推定値)  
出典 : HYDE (2023); Gapminder (2022); UN WPP (2024)

問 3. 問 1 で取り上げた、我が国における食と健康問題と、問 2 で取り上げた、世界的な食糧事情には大きな隔たりがあると考えられる。この隔たりを埋めるためのあなたの考えを 400 字程度で述べなさい。